

講 義 概 要

第1回 五感で読むヘミングウェイ ―『老人と海』とカジキの「味」―

10月4日（土） 14:00～16:00

戸田 慧 准教授

小説を読むときに、登場人物たちが食べる食事の「味」を想像し、食べてみたいなあ、どんな味だろう、と想像を膨らませることは読書の楽しみの一つです。20世紀アメリカ文学を代表するアーネスト・ヘミングウェイは希代の食通として知られ、小説の中にも多くの食べ物や酒が登場しますが、それらの食べ物にはどんな「意味」が隠されているのでしょうか。『老人と海』などのヘミングウェイの代表作を英語の原文で読みながら、食べ物の「味」に隠された意味を読み解いていきましょう。

第2回 ハンガリーから日本へ ―広島を通じて考える平和―

10月11日（土） 14:00～16:00

Duro Agota 准教授

本講義では、広島を訪れ原爆について学んだ体験を通じて、平和を考え直すに至った経緯をたどります。広島との出会いは人生を大きく変え、それまでの平和観を見直し、平和研究を深める契機となりました。被爆者を支援する市民社会に関する研究に加え、母国ハンガリーの戦時中の悲劇も紹介します。こうした学びから、戦争の回避と他国の人々への尊重の重要性を強く感じ、若い世代に伝えるため平和教育に取り組んでいます。個人の体験と歴史的事実を結びつけ、平和の価値や他者への尊重について考えるきっかけを提供いたします。

第3回 本当に役立つ英語表現 ―英会話のメリハリー

10月25日（土） 14:00～16:00

Timothy Wilson 助教

本講義では、英語の強意語について学びます。強意語は“very”や“really”といった馴染みのある単語で、副詞や形容詞が該当します。強意語の中にはイギリス英語特有のものもあり、地域性が見られます。強意語をマスターして、英語の表現力を高めて会話を楽しみましょう。

第4回 歴史的にみる英語の姿

11月1日（土） 14:00～16:00

小池 一夫 特任教授

一般に言語には絶えず変化を続けるという特徴があります。英語も例外ではありません。英語は、5世紀中頃にその母語話者一団がグレートブリテン島に渡来したその時を起点として、約1500年に亘って、一地方言語から世界の多くの地域で公用語・共通語として広く用いられる言語へと発展してきました。その間、常に一定の状態で人々に使われていた訳ではありません。英語がどのような要因で、どのように変化し、現代英語の形態が成立したのか、本講義では、その一端をご一緒に考えてみたいと思います。

2025 年度 第42回 公開セミナー

受講対象

高校生 ～ 一般の方

受講料

無 料

開催場所

広島女学院大学 会場

募集人数

100名

申込方法

本学ホームページの申込フォームから または ハガキ
(電話でのお申し込みはお受けできませんので、ご了承ください。)
ハガキの場合は、チラシの最終面に、ハガキ貼付け用の
申し込み用紙があります。必要事項をご記入の上、
切り取ってハガキに貼ってお出してください。

申込期間

8月29日(金) 申し込み受付開始 ～

9月21日(日) 23:59 ハガキの場合は消印有効

申し込みQRコード



QRコードを読み取って
いただくと、本学のホーム
ページ【公開セミナー】の
申込フォームにアクセス
できます。

(※ご記入いただきました住所・お名前等の
個人情報は、広島女学院大学公開セミナー
の目的以外には利用しません。)

※ご注意ください

10月18日(土)は、公開セミナーを
お休みします。ご了承ください。



※今年度より、オンラインでの開催
はなくなりました。
広島女学院大学の会場での開催
のみとなります。ご了承ください。

